北区まちセンかわら版
まちづくり塾特集号

6/16 開催

第1回～まちづくりのファシリテーション～　和やかなムードで開催！

第１回講師はこの方

シチズンシップ共育企画　代表
ファシリテーター
川中　大輔さん
わかりやすい講座が大好評でした。
シチズンシップ共育企画facebookにも今回の様子を報告していただいています。

2014年6月16日（月）　19:00～21:10
北区在宅サービスセンター　4階　会議室
参加者　23名　　20代～70代

ウエルカムフラワー

芍薬、銀梅花　紫陽花
タニワタリ　マスカット

北区まちづくり塾は、ファシリテーションを学ぶことから始まりました。
まず４回講座の流れが説明されました。
①みんなで考えみんなで決める
（ファシリテーション）
②みんなで実行する
（仲間集め　新しい担い手）
③参加者の集め方（広報）
④実行してどうだったか？
（振り返りと評価）
再び①にもどる流れになっています。
多彩な団体や組織が協働するこれからのまちづくりを進めるためには
①市民のつながりをチカラにする。
②地域資源をつなげてチカラにする。
この２つのチカラが必要不可欠です。
そのため市民間の協働と組織間の協働を進める場が必要になり、その協議を進めるファシリテーションが重要になってきていると説明されました。

各グループで自己紹介が始まった頃には場が和み、活発な意見交換がされるようになっていました。
よい会議のあり方、なぜ現実にはうまくいかないのかを考え、それを解決するためのすぐ出来る会議の工夫を出し合いました。

■よい会議とは
時間短く　成果多く　気分爽快
みんなが参加する会議

■すぐできる会議の工夫
話をよく聞く
書いてから議論する
具体化を促す質問
「たとえば？」「なんで？」
議論の流れをホワイトボードに板書
本日の会議目標が議題に書いてある
議題○○についてはダメ
今日は３案に絞ります。など具体的目標を。
座席や役割分担を考える

■会議は文化です。
みんなで話し合ってその会議のルールを作って貼り出してみましょう。
川中さんは講座の中でのヒントや気づきを現場で活かしてみることが大切だと締めくくられました。

6つの班に分かれて話し合い。
地域活動されている方、企業の方やボランティアグループの方など立場は様々なメンバー。
「話しやすい雰囲気にいつの間にか時間がたちました。」とある女性参加者。

今回のキーワード

- 人交密度
- 共有　拡散　混沌　収束
- ま、試しにやってみるか
- 多段階投票
- ファシリテーショングラフィック　軸と表にまとめる
- 受容懸念
- ジャック・ギブ　4つの懸念
- 目標形成懸念
- データーの流動的表出懸念
- 社会的統制懸念

・講義資料等お問い合わせは・
北区まちづくりセンターまで　TEL06（6809）1080

講師が大変よかった。・参加する会に活かしたい。・わかりやすい講座でした。・最後に会のルールを確認する事の大切さをなるほどなあと思います。・積極的意見交換は楽しいと思いました。

アンケート感想より・・・会議の進め方のアイデアがしっかり学べた。・参加者がさまざまで意見を広く聞けた。・大切なことを地域に持って帰ります。・地活の行動に活かせればと思う。